



## 平成25年度の自然学校を振り返って

平成25年度の本校での自然学校は、11月末利用の福崎町立八千種・田原・福崎・高岡小学校連合で終了し、53グループ68校の利用がありました。今は、今年度の活動を振り返るために、利用校からの実施報告書をもとに課題や改善点等をまとめ、来年度に向けて準備を進めています。

実施報告書で、自然学校実施後の成果や感想を記載してもらっていますが、利用校の素晴らしい実践がたくさんありました。自校の取組を振り返るとともに、他校の取組を参考にして、来年度の自然学校に生かしてください。

・今回の自然学校では、学級プログラム→班別プログラム→個人別プログラムという流れをくむことで、個人の力を伸ばそうと考えた。児童たちは自分自身を見つめなおし、自分の力でプログラムをこなしていく中で、自分の力に自信が持てたようだ。

・昨年プログラムになかった竹田城跡登山を今年取り入れたのは良かったと感じた。お弁当を持っての大変な道のりだったが、子どもたち同士が助け合い頂上へ登った時の達成感で満ちた顔は忘れられない。火おこしなど友達と協力し、諦めずに最後まで全力で取り組んだことは目標達成に向けて子どもたちが向かっていったのではないかと思う。



・普段体験できないような経験ができ、児童も積極的に取り組むことができました。また、活動の中で仲間とぶつかることもありながら、協力の必要性も十分に感じたと思います。自然学校で学んだことをこれからの学校生活でも生かしてほしいなと思っています。

・雨中の自然学校であったが、雨中でこそその体験〔モリアオガエルの産卵テントで雨音を聴く〕ができ、自然に

親しむことができた。また、お世話になった指導員や励ましながら山を登った友達、食堂の方などお世話になった方々への感謝の気持ちを持つことができた。また、共同生活を行う上で時間やルールを守ることの大切さにも気づくことができた。

・学年目標“絆No1”を自然学校でも共通のテーマとして取り組むことで、隠れ家づくりや野外炊飯を通じて友だちの良さについて見つめ直す機会とでき、自分の役割に責任を持ってやり遂げたり、友だちの気持ちに歩みよったりしながら、人間関係を深めることができた。また、大自然の中で存分に活動を楽しみ、大きな達成感を得ることができたという自信を、今後の学校生活に生かしていきたい。

・児童の実態として、自分で判断し自ら行動するということが苦手で、教師の指示がなければ動





き出せないことが多かった。自然学校では自分の力で調べ、それをもとに自分たちで話し合いながらあらゆることを決めていった。その結果、なんとか自分たちで成功させたい！という気持ちが生まれ、いつもより自分から行動しようとする姿が見られるようになった。

・昨年度の反省から、選択プログラムを一日じっくりと取り組めるようにした。ゆったりと活動に取り組むことができ、充実した時間を過ごすことができた。ゆとりのあるプ

ログラムによって、自然をより身近に感じ取ることができた。また、木を切り倒す体験は心に残る体験だった。



・今回の自然学校を通して、本校の子どもたちは仲間と活動する際に、本音で話し合うことや相手の意見を尊重することの大切さについて深く考えることができました。また、それぞれの活動の中で、壁にぶち当たるたびに仲間と話し合い、解決する方法を導き出そうとする姿が見られました。こういった今までの学校生活の中では見られなかった姿に成長を感じました。

・子どもたち自身の手で、4泊5日の「活動」を作り上げたり、自然学校中の「くらし」を高めたりしたことを通して、自分に自信を持てる児童が増えた。学校に帰ってからも、自ら考えて行動したり、声を掛け合ったりする姿が見られるようになった。

・特に大きなけがもなく、途中で帰る子どももなく、すべてのプログラムを行えたことが何よりの成果であった。自然学校の目的を達成するために、①時間を守る ②しっかり話を聞く という2点を重点的に指導してきたが、自然学校を通して、2つの約束の大切さが子どもにも伝わったように思う。また、帰校後もトイレのスリッパがそろっていたり、男女仲良くなっている姿を見ると自然学校中に身につけたことが生かされ続けていると思う。

・3校合同の自然学校ということで、仲間づくりが一つの大きなテーマでした。南但馬自然学校の充実したプログラムを通して、子どもたちは互いの関わりを深め、仲間の大切さ、そして自分の在り方について考えることができましたと思います。また、自分を支える人、もの、環境への感謝の心も学んでくれたと思います。

・子どもたちは、非日常の自然に囲まれた環境の中、伸び伸びとどの活動にも積極的に取り組めたと思います。自然との触れ合いや友だちとの関わり、リーダーとの関わり、その他の先生との関わりに喜びを感じ、帰校後も感謝の気持ちを忘れずこれからの活動に生かしたいと感想を述べている児童が多く見られました。大変貴重な体験をすることができたと思います。

(各利用校の実施報告書より、学校名を入れずに一部抜粋しています。なお、文章は原文のまま用いていますが、文章と写真の学校は、必ずしも一致していません。)



#### 編集後記

実施報告書から、「自然学校での学びがその後の生活に生かされている」と感じる実践が多くあり、それらを利用校に対して還元することを意識して、今回の「指導課だより」を作成しました。

(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)